

つながる世界の品質確保に向けた手引き

IoT 開発・運用における妥当性確認・検証の重要ポイント

検証の立場から考慮すべき重要事項を 13の視点として提示



2018年3月公開

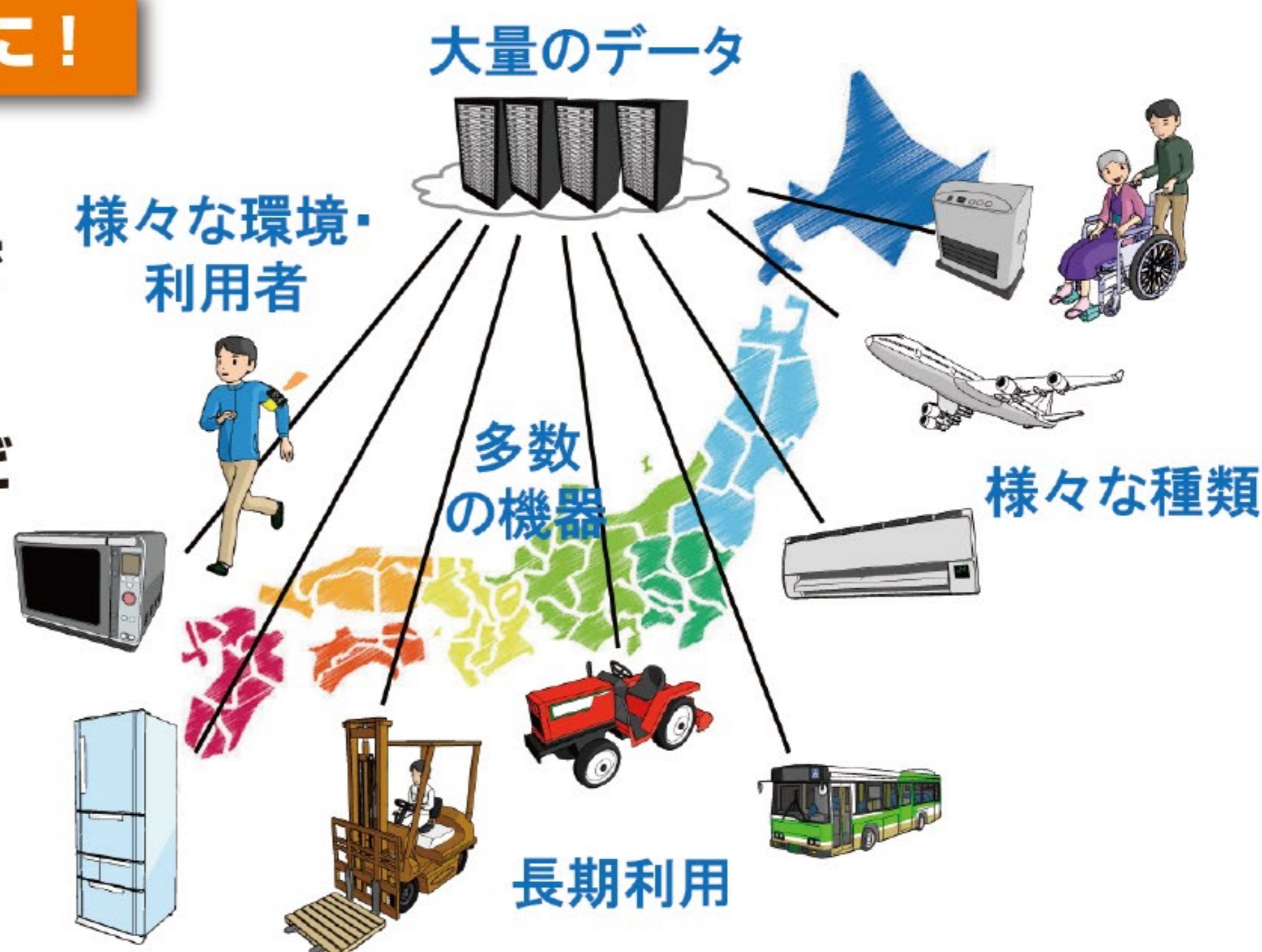
<https://www.ipa.go.jp/sec/reports/20180322.html>



活動	品質の確保、維持・改善の視点
V&V マネジメント	【視点1】 IoTの社会的影響やリスクを想定する
妥当性確認	【視点2】 つながる機能の要求仕様が利用者を満足させるか確認する
	【視点3】 実装した機能が利用者の要求を満たしているか評価する
検証	【視点4】 多種多様なつながり方での動作と性能に着目する
	【視点5】 多種多様な利用環境や使い方に着目する
	【視点6】 障害や故障、セキュリティ異常の検知と回復に着目する
	【視点7】 長期安定稼働の維持に着目する
	【視点8】 大規模・大量データのテスト環境構築とテスト効率化を検討する
	【視点9】 テストのし易さと実施可能性を検討する
運用マネジメント	【視点10】 テストを効率的に実施し、エビデンスを残す
運用マネジメント	【視点11】 運用中の環境変化による影響やリスクを想定する
運用実施	【視点12】 運用中の環境変化を捉え、品質が維持されているか確認する
	【視点13】 ソフトウェアの更新時はつながる相手への影響を確認する

IoT時代では品質確保が重要に！

- 屋内 / 屋外、高地や寒冷地など様々な環境、幼児から高齢者まで幅広い層が利用
- 接続される機器の種類や個数など利用環境が日々刻々と変化
- 自動車・家電製品・工場のシステムなど長期に利用



本手引きを現場で効率的に活用するための「つながる世界の品質確保チェックリスト」を同時公開